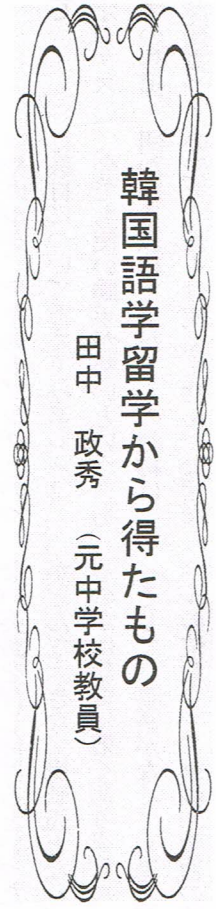


手をつなぐ

題字 藤本利夫書

〈1988年7月9日創刊〉
 発行2017年12月1日 〈毎月1日発行〉
滋賀県民主教育研究所
 〒520-0052大津市朝日が丘1丁目
 11-3 教育文化会館2F
 TEL & FAX 077-525-5364
 教育110番 077-523-3715
 e-メール/shiga.minken@gmail.com
 HP:http://shiga-minken.jindo.com/
 振替口座番号(会費振込にご利用ください)
 ①ゆうちょ銀行/記号番号01070-5-40576
 ②滋賀銀行本店営業部/普通口座511256
 加入者(口座)名 滋賀県民主教育研究所



韓国語学留学から得たもの

田中 政秀 (元中学校教員)

私は、過去数年に合わせて1年近く韓国に語学留学をしてきた。若いころからの長年の夢を、定年退職を機にようやく実現してきたものだ。

安心感が持てたというものだ。それが、あれよあれよといううちにいまだに続いているというから自分でも驚いている。もちろん今は手紙などではなく、もっぱらメールに田での「文通」だが、最近はそのもおつくうになつて、直接出会う親交を温めるといふことの方が多くなつてい

る。それが韓国語を学ぶ最大のきっかけにもなっている。これまでのつたない英語でのやりとりでは次第に物足りなくなり、同一言語で話したいと思うようになったわけだ。しかしそれが合わせて1年近くも語学

留学に出かけ、今も韓国の友人と親交を続けている自分が驚きだ。それは、単なる語学を超えて、韓国という外国、そして韓国人という外国人を知ることにつながる楽しみを感じることができるところだ。これまでい

て忘れることはできない。今は亡き李さんのお父さんは長崎での韓国人被爆者、李さんは被爆2世だ。何度も長崎に来ては韓国人被爆者の救済のために尽力してこられた。父子ともに被爆者でありながら、日本人である私に対して、常に温かく、献身的だった。李さんとは今は家族ぐるみで日韓を行き来している。これからもこのきっかけ、出会いを大切に、さらに韓国語学習にも打ち込みたいと考えている。

(たなか まさひで)



私にとつての韓国は、高校時代にさかのぼる。当時、「文通」というものが、学生の間で結構行われていた。例にもれず私も文通を始め、海外文通にまで手を広げたのだが、その相手国が韓国だった。理由はあまりに単純、日本から近くて同じ漢字圏であったこと。英語は日本同様中学生から学ぶ国というのが何となく

ななかでも50年来の付き合いの李さんは、そのお父さんとの出会いも含め

《 今月の紙面 》

- ・韓国語学留学から得たもの
／田中 政秀 …P1
- ・英語教育、ここが問題！
／福田 香織 …P2, 3
- ・発達に障害がある子の学校教育を考える～高校での「通級指導」を目前にして／黒田 吉孝 …P4, 5
- ・総合学科における課題研究の取り組み～地域社会との交流を目指して
／岩橋 慶孝 …P6, 7
- ・滋賀の教育動向 9・10月 …P8